

小平市地域包括ケア推進計画策定のためのアンケート調査集計速報

1 調査結果の概要

(1) 一般高齢者アンケート

問7 現在の健康状態

健康だと思っているが 79.7%

「どちらかといえば、健康だと思う」と「とても健康だと思う」をあわせた「健康だと思う」の割合が 79.7%となっています。

問10 運動の頻度

週に1日以上運動しているが 67.7%、あまり運動していないが 30.8%

「週に1～2日程度運動している」、「週に3～4日程度運動している」、「ほぼ毎日運動している」をあわせた「週1日以上運動している」の割合が 67.7%となっています。また、「あまり運動していない」が 30.8%となっています。

問11 これからも元気で過ごしていくために行っていること（複数回答） 【新規】

口腔ケアの取組が 66.9%

「口の中を清潔にすること（歯みがき、うがいなど）」が 66.9%で最も高く、次いで、「栄養バランスを考えて食べること」が 59.6%、「健康診断を定期的に受けること」が 56.8%、「休養や睡眠を十分にとること」が 55.1%、「ウォーキングや散歩を定期的に行うこと」が 52.0%となっています。

問17 新型コロナウイルス感染症の影響（複数回答） 【新規】

「家族、親族、友人などに会う機会が減った」が 58.5%

「家族、親族、友人などに会う機会が減った」が 58.5%と最も高く、次いで「健康への意識が高まった」が 30.0%、「足、腰が弱くなった」が 25.0%となっています。一方、「特に変化なし」は 18.0%となっています。

問18 福祉に関する情報の入手先（複数回答）

「市報こだいら」が 75.2%

「市報こだいら」が 75.2%と最も高く、次いで「テレビ・ラジオ」が 35.7%、「新聞・雑誌・書籍」が 34.3%、「市のパンフレットなど」が 34.2%となっています。

問19 相談窓口の認知状況

「地域包括支援センター」が 73.9%、「権利擁護センターこだいら」が 20.8%

相談窓口を知っている人は「地域包括支援センター」が 73.9%、「権利擁護センターこだいら」が 20.8%となっています。地域包括支援センターの認知度は前回より 0.3 ポイント増加しています。権利擁護センターの認知度は前回より 0.2 ポイント増加しています。

問 22 地域のつながり度合い

地域とのつながりを感じている人は 47.7%

「とても感じる」と「少し感じる」をあわせた“感じる”が 47.7%、「あまり感じない」と「感じない」をあわせた“感じない”が 50.6%となっています。

問 27 地域住民が集まる地域の居場所や通いの場への参加意向

参加したいが 55.4%、参加したくないが 38.7%

「参加したい」と「機会があれば参加したい」をあわせた“参加したい”の割合が 55.4%、「どちらかといえば参加したくない」と「参加したくない」をあわせた“参加したくない”の割合が 38.7%となっています。

問 30 情報通信機器の保有状況（複数回答） 【新規】

スマートフォンの所持率が 69.1%

「スマートフォン」が 69.1%と最も高く、次いで「パソコン」が 47.8%、「携帯電話」が 32.7%、「タブレット型端末（iPad など）」が 18.4%となっています。また、「(前述の機器を) いずれも持っていない」が 3.9%となっています。

問 31 情報通信機器保有者のメールや SNS (Facebook、Twitter、Line) の利用状況 【新規】

情報通信機器保有者のうちメールや SNS を利用しているが 84.4%

「頻繁に利用している」と「時々利用している」をあわせた“利用している”が 84.4%となっています。

問 32 普段の生活でのパソコンやスマートフォンの利用状況 【新規】

パソコンやスマートフォンなどを普段の生活で利用しているが 82.4%

普段の生活（買い物、仕事、調べものなど）で「頻繁に利用している」と「時々利用している」をあわせた“利用している”が 82.4%となっています。

問 35 今後取り組みたいこと（複数回答）

「自分の楽しみや生きがいを得られること」が 45.6%

「自分の楽しみや生きがいを得られること」が 45.6%で最も高く、次いで「興味ある知識や教養を得られること」が 35.1%、「介護予防や健康づくりにつながること」が 23.2%となっています。

問 40 所得段階に応じた介護保険料の負担について

「このくらいの負担はやむを得ない」が 56.2%

「このくらいの負担はやむを得ない」が 56.2%で最も高く、次いで「今の負担では苦しい」が 29.2%、「おおむね妥当である」が 9.2%となっています。

問 43 介護が必要になったときの介護のあり方

「自宅で介護を受けながら生活したい」が 40.0%

「自宅で介護保険サービスを利用しながら生活したい」が 40.0%と最も高く、次いで「自宅で主に家族などの介護を受けながら生活したい」が 12.7%、「特別養護老人ホームなどの施設に入所したい」が 11.8%となっています。

(2) 在宅サービス利用者アンケート

問 10 医療的ケアが必要な方 【新規】

「なんらかのケアを必要としている」が 23.5%

治療中または後遺症のある病気がある方のうち、「なんらかのケアを必要としている」が 23.5%となっています。一方、「医療的ケアは必要ない」が 60.9%となっています。

問 14 今後利用したいサービス（複数回答）

「福祉用具の貸与」が 26.6%

「福祉用具の貸与」が 26.6%と最も高く、次いで「通所介護（デイサービス）」が 21.9%、「短期入所生活介護（ショートステイ）」が 21.8%、「住宅改修費の支給」が 19.7%、「福祉用具の購入費支給」が 19.5%となっています。

問 24 サービス利用料の負担

「このくらいの負担はやむを得ない」が 54.5%

「このくらいの負担はやむを得ない」が 54.5%と最も高く、次いで「あまり負担に思わない」が 22.0%となっています。

問 26 今後、自宅で暮らし続けるために必要なこと（複数回答）

「訪問診療などの自宅で受けられる医療サービス」が 61.0%

「訪問診療などの自宅で受けられる医療サービス」が 61.0%と最も高く、次いで「夜間や緊急時に対応できる介護サービス」が 53.7%、「段差解消や手すりの取り付けなど自宅のバリアフリー化」が 20.0%となっています。

問 28 人生の最期の過ごし方や受けたい医療について家族や友人と話し合っているか

「話し合ったことがある」が 44.8%、「話し合ったことがない」が 47.9%

「多少話し合ったことがある」と「詳しく話し合っている」をあわせた“話し合ったことがある”の割合が 44.8%となっています。「話し合ったことがない」が 47.9%となっています。

問 29 普段、介護している方

「子」が 47.3%

「子」が 47.3%で最も高く、次いで「配偶者」が 36.9%、「子の配偶者」が 4.1%となっています。

問 33 介護者（家族・親族）の就労状況

働いていないは 46.3%、働いているは 43.5%

「働いていない」が 46.3%と最も高くなっています。また、「パート・アルバイト」の 14.8%、「正社員」の 15.1%、「自営業、経営者、フリーランス等」の 8.3%、「契約社員・派遣社員等」の 5.3%をあわせた“働いている”の割合が 43.5%となっています。

問 35 介護者（家族・親族）の働き方の調整（複数回答）

特に行っていないは 46.0%、働き方の調整をしたは 29.6%、離職は 6.6%

「特に行っていない」が 46.0%となっています。また、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）しながら、働いている」が 14.4%、「休暇（年休や介護休暇等）を取りながら、働いている」9.3%、「転職した」が 1.4%、「在宅勤務を利用している」が 4.5%と、介護のために働き方の調整をした割合は 29.6%となっています。なお、「仕事を辞めた」が 6.6%となっています。

問 41 今後の介護者支援に必要なこと

「緊急時の対応についての支援」が 44.9%

「緊急時の対応についての支援」が 44.9%と最も高く、次いで「ショートステイなど、介護者の負担軽減のために利用できる介護サービス」が 35.3%、「自宅で受けられる医療サービス（訪問診療など）」が 30.7%、「介護保険サービスなどの情報提供」が 30.4%となっています。

問 44 新型コロナウイルス感染症の影響（複数回答） 【新規】

「外出の頻度が少なくなった」が 46.2%

「外出の頻度が少なくなった」が 46.2%と最も高く、次いで「家族、親族、友人に会う機会が減った」が 41.8%、「身体機能の低下が急激に進行した」が 27.4%となっています。一方、「特に変化なし」は 22.2%となっています。

（3）施設・居住系サービス利用者

問 7 入所している施設の所在地

「小平市内」が 73.1%

「小平市内」が 73.1%で最も高く、次いで「近隣の市（立川市、小金井市、東村山市、国分寺市、東大和市、東久留米市、西東京市）」が 16.0%、「上記以外の東京都内の区市町村」が 7.6%となっています。

問 8 暮らしている居室の種類

「ユニット型個室」が 37.9%

「ユニット型個室」が 37.9%で最も高く、次いで「多床室（2人部屋・4人部屋等）」が 30.5%となっています。「ユニット型個室」は前回より 5.7ポイント増加しています。

問 10 現在の施設に入所するまでの待機期間

「1 か月未満～3 か月程度」が 62.4%

「1 か月未満～3 か月程度」が 62.4%で最も高く、次いで「3 か月～半年程度」が 16.9%「1 年以上」が 9.3%となっています。

問 13 施設利用料（部屋代、食事代、日常生活費など）の負担感

「このくらいの負担はやむを得ない」が 67.6%

「このくらいの負担はやむを得ない」が 67.6%で最も高く、次いで「今の負担では苦しい」が 21.0%となっています。

問 16 在宅生活に戻る場合の課題（複数回答）

「家族だけでは、十分な介護が難しい」が 74.5%

「家族だけでは、十分な介護が難しい」が 74.5%で最も高く、次いで「夜間の介護や見守りに支障がある」が 59.8%、「緊急時の対応に不安がある」が 52.1%となっています。

（4）介護保険サービス未利用者

問 14 介護保険サービスを利用していない理由（複数回答）

「特にまだ利用するほどでもない」が 51.1%

「特にまだサービスを利用するほどでもないため」が 51.1%で最も高く、「家族などに介護してもらっているため」が 22.4%、「利用したいが、サービスの利用方法がわからないため」が 8.8%となっています。

問 15 今後利用したいサービス（複数回答）

「福祉用具の貸与」が 28.0%

「福祉用具の貸与」が 28.0%で最も高く、次いで「訪問介護（ホームヘルプ）」が 24.8%、「住宅改修費の支給」が 23.3%、「福祉用具の購入費支給」が 17.3%となっています。

問 20 普段、介護している方

「配偶者」が 42.8%

「配偶者」が 42.8%で最も高く、次いで「子」が 31.9%、「兄弟姉妹」が 2.4%となっています。

問 24 介護者（家族・親族）の就労状況

働いていないは 48.1%、働いているは 30.0%

「働いていない」が 48.1%と最も高くなっています。また、「正社員」の 12.2%、「パート・アルバイト」の 9.8%、「自営業、経営者、フリーランス等」の 4.5%、「契約社員・派遣社員等」の 3.5%をあわせた“働いている”の割合が 30.0%となっています。

問 26 介護者（家族・親族）の働き方の調整（複数回答）

特に行っていないが 48.7%、働き方の調整をしたが 18.2%

「特に行っていない」が 48.7%、となっています。また、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）しながら、働いている」の 9.0%、「休暇（年休や介護休暇等）を取りながら、働いている」の 6.6%、「在宅勤務を利用している」の 2.1%、「転職した」の 0.5%をあわせた、介護のために働き方の調整をした方は 18.2%となっています。なお、「仕事を辞めた」は 3.5%となっています。

問 35 新型コロナウイルス感染症の影響（複数回答） 【新規】

「外出の頻度が少なくなった」が 52.7%

「外出の頻度が少なくなった」が 52.7%と最も高く、次いで「家族、親族、友人に会う機会が減った」が 41.0%、「身体機能の低下が急激に進行した」が 28.2%となっています。一方、「特に変化なし」は 20.2%となっています。

（５）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問 7 経済的に見た現在の暮らしの状況

ふつうが約 6 割、経済的に苦しいは 28.2%

「ふつう」が 56.9%で最も高く、「やや苦しい」と「大変苦しい」をあわせた“苦しい”の割合が 28.2%となっています。

問 12 過去 1 年間の転倒経験

転倒経験のある人は 22.9%

「1 度ある」の 18.1%と「何度もある」の 4.7%をあわせた“転倒あり”の割合が 22.9%となっています。

問 34 地域での活動等の参加者としての意向

参加したいと思う人が 57.8%

「参加してもよい」の 48.8%と「参加したい」の 9.0%をあわせた“参加したい”の割合が 57.8%となっています。また、「参加したくない」の割合が 34.4%となっています。

問 35 地域での活動等の企画運営者（お世話役）としての意向

参加したくない人が 58.9%、参加したいと思う人が 34.3%

「参加したくない」が 58.9%となっています。また、「参加してもよい」の 30.6%と「参加したい」の 3.7%をあわせた“参加したい”が 34.3%となっています。

問 47 現在治療中、または後遺症のある病気（複数回答）

高血圧が 37.8%

病気の内訳は、「高血圧」が 37.8%で最も高く、次いで「高脂血症（脂質異常）」と「目の病気」が 19.5%となっています。なお、病気が「ない」は 17.7%となっています。

問 48 新型コロナウイルス感染症の影響（複数回答） 【新規】

「家族、親族、友人などに会う機会が減った」が 59.0%

「家族、親族、友人などに会う機会が減った」が 59.0%と最も高く、次いで「健康への意識が高まった」が 30.6%、「足、腰が弱くなった」が 24.3%となっています。一方、「特に変化なし」は 18.4%となっています。

（6）介護支援専門員（ケアマネジャー）アンケート

問 4 経験年数

5年以上の経験者が 76.5%

「10年以上」の 49.5%と「5年以上」の 27.0%をあわせた“5年以上”の経験者の割合が 76.5%となっています。

問 11-（1）事業所数や定員など量的に不足していると感じるサービス（複数回答）

「夜間対応型訪問介護」が 36.9%

「夜間対応型訪問介護」が 36.9%で最も高く、次いで「訪問介護」が 35.1%、「通所リハビリテーション」が 31.5%となっています。

問 11-（2）人手が不足していると感じるサービス（複数回答）

「訪問介護」が 71.2%

「訪問介護」が 71.2%で最も高く、次いで「夜間対応型訪問介護」が 27.0%、「通所介護」が 16.2%となっています。

問 11-（3）ケアプランに組み入れにくいサービス（複数回答）

「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が 47.7%

「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が 47.7%で最も高く、次いで「看護小規模多機能型居宅介護」が 26.1%、「夜間対応型訪問介護」と「小規模多機能型居宅介護」がともに 24.3%となっています。

問 14 新型コロナウイルス感染症が流行したことによる利用者への状態の変化 【新規】

（1）認知症と診断された、または症状が悪化した。

「一部の利用者に出ている」が 70.3%で最も高く、次いで「あまり出てない」が 21.6%、「多くの利用者に出ている」が 4.5%となっています。

（2）身体機能の低下が進み、重度化した。

「一部の利用者に出ている」が 68.5%で最も高く、次いで「あまり出てない」が 16.2%、「多くの利用者に出ている」が 9.0%となっています。

（3）生活への不安を訴えるようになった。

「一部の利用者に出ている」が 58.6%で最も高く、次いで「あまり出てない」が 19.8%、「多くの利用者に出ている」が 18.0%となっています。

問 17 認知症の方の状況（複数回答）

「本人の意思確認が困難」が 65.0%

「本人の意思確認が困難」が 65.0%で最も高く、次いで「サービスを利用してもらえない、サービス拒否がある」が 61.2%、「薬の飲み間違いがあつて、服薬管理ができない」が 47.6%となっています。

問 18 家庭内における高齢者虐待の事例経験

経験したことがある人は 55.9%

「ある」が 55.9%、「ない」が 42.3%となっています。

問 25 在宅療養者への支援における医療・介護の連携

連携しているが 72.1%、不十分が 26.1%

「十分連携している」の 1.8%と「ある程度連携している」の 70.3%をあわせた“連携している”が 72.1%、「連携が不十分である」の 23.4%と「ほとんど連携していない」の 2.7%をあわせた“連携が不十分”が 26.1%となっています。

問 31 ケアマネジメントをする上での問題（複数回答）

「作成しなければならない書類が多い」が 81.1%

「作成しなければならない書類が多い」が 81.1%で最も高く、次いで「本人の経済的な理由で必要なサービスを組み入れられない」が 62.2%、「ケアマネジメント業務以外の依頼や相談が多い」が 55.9%となっています。

問 37 保険者としての市に対し、ケアマネジャーとして望むこと

「介護保険に関する情報提供」が 61.3%

「介護保険に関する情報提供」が 61.3%と最も高く、次いで「制度運営における保険者判断部分の周知」が 59.5%、「利用者や家族への制度の周知」が 48.6%となっています。